



ご挨拶

下野市農業委員会会長 高田 憲一

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本市農業委員会活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は熊本地震に始まり大雨や大雪など各地に異常気象等の災害があり、農作物や農業施設は大きな被害を受けました。幸い、市内では大きな被害はなかったと聞いておりますが、同じ農業者として被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。

さて、皆様ご承知のことと思いますが、農業委員会法の改正により、農業委員の選出方法が、選挙から市議会の同意を得て市長が任命することとなり、新たに農地利用最適化推進委員が新設されるなど農業委員会改革が進められております。

農業委員の定数（現行29人）は会議を機動的に開催できるよう現行の半分程度にすることとされました。当市では平成30年9月に新体制に移行することになりますので、平成30年1月頃から委員の公募が始まるのではないかと考えます。農地利用最適化推進委員の公募についても同時に行うこととなりますので、定数等がままりましたら、皆様の理解を得るために説明会等を予定しておりますので、ご参加願います。

今後とも農業委員会は農地等の利用の最適化を推進すべく活動して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



栃木県農村女性 トッパーリーダー懇談会

2月、農業委員や農協団体など、県内の各女性農業団体から約160名余が出席し、栃木県農村女性トッパーリーダー懇談会が行われました。

講師に「農村社会の男女共同参画」を専攻している東京農業大学、五條満義准教授をお招きし、農村社会における女性の持つ技術、役割を地域の発展のためにいかに役立てていくかをテーマに講演パネルディスカッションが行われました。

今後、県内の多くの市町が農業委員の改選を控えている中で、女性が地域からの後押しを得て社会へ出ること、また、その後押しを受けた女性が一步前に入る勇氣を持つことが重要だ、という声が参加者やパネラーから聞かれ、栃木県内女性の社会参画への意識の高さを改めて認識しました。



懇談会の様子

とちぎ女性農業委員研修会

昨年12月、県内の女性農業委員が一堂に会してとちぎ女性農業委員の会総会及び研修会が行われました。

栃木県は全国でも女性農業委員の活動が活発な県であり、この日も89名の出席者がありました。

TVドラマ「ナポレオンの村」の主人公のモデルにもなった総務省地域力創生アドバイザー高野誠鮮氏をお招きし、数々のユニークなアイデアで限界集落の再生に成功し、地域農業者の高収入化を達成した実体験などをご講演して頂きました。

また、女性農業委員同士の意見交換会も行われ、農家の後継者問題について、女性農業委員にしかできない活動と委員独自の情報網の活用について活発な討論が行われました。

今後の女性農業委員のさらなる活躍が期待され、会は盛況の中で無事に終了しました。



地区ごとの意見交換会の様子